



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 株式会社島精機製作所 上場取引所 東  
 コード番号 6222 URL <http://www.shimaseiki.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 島 正博  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理財務部長 (氏名) 南木 隆 (TEL) 073-471-0511  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	16,885	38.3	3,791	217.9	990	△55.3	873	△38.6
28年3月期第1四半期	12,207	△6.1	1,192	△19.9	2,218	107.3	1,422	141.3

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △719百万円( —%) 28年3月期第1四半期 1,514百万円( 207.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	25.52	—
28年3月期第1四半期	41.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	125,984	96,452	76.4
28年3月期	126,415	98,293	77.6

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 96,263百万円 28年3月期 98,102百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	22.50	37.50
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 29年3月期(予想) 期末配当の内訳 普通配当22円50銭 記念配当2円50銭

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,000	33.3	5,500	176.0	5,300	117.4	3,400	109.6	99.36
通期	63,000	27.1	11,500	98.9	11,000	142.7	7,000	114.0	204.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注) 詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	36,600,000株	28年3月期	36,600,000株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	2,382,213株	28年3月期	2,382,183株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	34,217,813株	28年3月期1Q	34,218,638株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. 補足情報 .....	10
受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における経済の動向は、米国では堅調な景気拡大が続いており、欧州でも緩やかな景気回復が継続する一方で、米国の金融政策の行方や英国のEU離脱問題などが先進国経済の先行きに不透明感を与えています。また、中国を中心とした新興国経済も総じて不安定な推移となっています。わが国においては雇用環境の改善が見られ、緩やかな回復基調となっているものの、急激な円高の進行が企業業績の下振れ懸念を強めています。

このような経済情勢の中、当社グループは世界各地のユーザーのニーズに応えるべく、各産地に密着した提案営業を展開しました。

コア・ビジネスである横編機事業において、アジア地域では近年設備投資が急速に拡大しているバングラデシュやASEAN諸国でコストパフォーマンスに優れた「SSR」や、さらに生産効率を高めた「SVR」など当社製品の優位性が高く評価され、売上が拡大しました。景気の減速が懸念される中国市場においても、内需向け生産への転換や、スポーツシューズ向けにコンピュータ横編機の活用が高まり売上が回復しました。韓国市場では消費地型生産体制が進み、ホールゲーム横編機の新製品「MACH2XS」の導入が進展しました。

さらに中東のトルコにおいても、欧州アパレル向けの生産量の高まりを受けて「SVR」「SSR」の売上が順調に拡大しました。

欧州では、付加価値の高い商品開発を得意とするイタリアにおいて、ニットの領域を広げる多彩な編み地の編成を可能とした「SRY」や多色編成に対応する「SIR」の販売が伸長し、ホールゲーム横編機についても「MACH2XS」の採用先が広がるなど売上が伸びました。また国内市場においてもコンピュータ横編機の売上高は前年同期を上回る推移となりました。これらの結果、横編機事業全体では売上高は142億38百万円（前年同期比52.9%増）と大幅に増加しました。

デザインシステム関連事業においては、「SDS-ONE APEX3」や自動裁断機「P-CAM」の販売が伸び悩んだことで売上高は8億23百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

手袋靴下編機事業は、売上高は2億84百万円（前年同期比27.5%減）と低調な推移となりました。

その他事業につきましては、売上高は15億40百万円（前年同期比4.7%減）となりました。

これらの結果、当第1四半期全体の売上高は168億85百万円（前年同期比38.3%増）となりました。利益面におきましては、売上総利益率の改善や販売費及び一般管理費の抑制により営業利益は37億91百万円（前年同期比217.9%増）と大幅に増加しました。一方、営業外で為替差損31億13百万円（前年同期は為替差益7億46百万円）が発生したことで経常利益は9億90百万円（前年同期比55.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億73百万円（前年同期比38.6%減）にとどまりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は現金及び預金の減少などで前期末に比べ4億30百万円減少し、1,259億84百万円となりました。負債合計は買掛債務の増加などで前期末に比べ14億9百万円増加し、295億32百万円となりました。また自己資本の額は、962億63百万円となり、自己資本比率は前期末に比べて1.2ポイント低下し76.4%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月2日に発表しました平成29年3月期の第2四半期連結累計期間および通期の連結業績予想に変更はありません。なお、個別業績予想についても同様であります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

海外連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### (平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に係る減価償却方法の変更に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

#### (繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,158	9,728
受取手形及び売掛金	58,313	60,727
有価証券	44	36
たな卸資産	18,222	17,930
その他	4,094	3,126
貸倒引当金	△1,850	△1,541
流動資産合計	89,983	90,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,298	5,826
土地	10,909	10,907
その他(純額)	4,233	4,117
有形固定資産合計	20,442	20,851
無形固定資産		
のれん	4,311	3,841
その他	116	139
無形固定資産合計	4,428	3,980
投資その他の資産		
投資有価証券	7,070	7,420
退職給付に係る資産	693	719
その他	7,965	6,452
貸倒引当金	△4,168	△3,448
投資その他の資産合計	11,561	11,144
固定資産合計	36,431	35,976
資産合計	126,415	125,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,716	5,688
電子記録債務	-	1,818
短期借入金	6,002	6,050
未払法人税等	1,073	490
賞与引当金	821	1,584
債務保証損失引当金	482	506
その他	4,452	4,911
流動負債合計	19,548	21,051
固定負債		
長期借入金	5,000	5,000
長期末払金	1,051	1,051
リース債務	1,203	1,193
退職給付に係る負債	975	985
その他	343	251
固定負債合計	8,573	8,480
負債合計	28,122	29,532
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,859	14,859
資本剰余金	21,724	21,724
利益剰余金	75,135	74,889
自己株式	△6,908	△6,908
株主資本合計	104,810	104,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	124	△5
土地再評価差額金	△7,003	△7,003
為替換算調整勘定	△29	△1,488
退職給付に係る調整累計額	200	197
その他の包括利益累計額合計	△6,708	△8,301
新株予約権	180	180
非支配株主持分	10	8
純資産合計	98,293	96,452
負債純資産合計	126,415	125,984

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	12,207	16,885
売上原価	6,506	8,616
売上総利益	5,701	8,269
販売費及び一般管理費	4,508	4,478
営業利益	1,192	3,791
営業外収益		
受取利息	127	89
受取配当金	111	103
デリバティブ利益	40	85
為替差益	746	-
その他	56	70
営業外収益合計	1,082	349
営業外費用		
支払利息	27	12
為替差損	-	3,113
その他	30	23
営業外費用合計	57	3,149
経常利益	2,218	990
税金等調整前四半期純利益	2,218	990
法人税、住民税及び事業税	949	266
法人税等調整額	△154	△148
法人税等合計	794	117
四半期純利益	1,423	873
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,422	873



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	1,423	873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	235	△130
為替換算調整勘定	△135	△1,459
退職給付に係る調整額	△8	△3
その他の包括利益合計	91	△1,593
四半期包括利益	1,514	△719
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,514	△719
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,312	888	391	10,592	1,615	12,207
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	9,312	888	391	10,592	1,615	12,207
セグメント利益	2,096	180	72	2,348	185	2,534

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,348
「その他」の区分の利益	185
全社費用(注)	△1,341
四半期連結損益計算書の営業利益	1,192

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	横編機	デザイン システム 関連	手袋靴下 編機	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,238	823	284	15,345	1,540	16,885
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	14,238	823	284	15,345	1,540	16,885
セグメント利益	4,738	221	38	4,998	197	5,195

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、編機・デザインシステム用部品事業、修理・保守事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,998
「その他」の区分の利益	197
全社費用(注)	△1,404
四半期連結損益計算書の営業利益	3,791

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

## 4. 補足情報

## 受注及び販売の状況

## ①受注実績

当第1四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同四半期比	受注残高	前年同四半期比
横編機	9,528	124.9%	6,890	231.2%
デザインシステム関連	855	108.8%	423	129.7%
手袋靴下編機	604	88.0%	558	128.5%
合計	10,989	120.7%	7,873	210.4%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。  
(単位：百万円)

セグメントの名称	販売高	前年同四半期比
横編機	14,238	152.9%
デザインシステム関連	823	92.7%
手袋靴下編機	284	72.5%
その他	1,540	95.3%
合計	16,885	138.3%

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。